

喜びをイメージしたポストカードのデザイン

a2200402 五十嵐香

【制作意図】

ポストカードというと手紙よりも手軽に送れ、見た目も内容も簡素なイメージがある。自分も利用することは多々あるのだが、いつも官製はがきや市販の絵はがきもなどを利用している。そういうものは、メッセージと宛名を書くくらいしか出来る事が限られてくるので、もっと幅を広げられないかと思い、郵便法による大きさや重量などの規格を参考にしながら自分で制作するとどういふものまで出来るのかやってみてみたいと思った。

そしてデザインコンセプトを「喜び」とした。手紙は、ただ単に送られてくるだけで嬉しいものだが、ポストカードの簡素なイメージを打破する、より喜びが大きくなるような、貰い手はもちろん送り手も相手のために手紙をかく楽しさがあるようなものを作りたかった。そこでプレゼントのようなイメージでポストカードを制作した。

【制作過程】

1. テーマ決定
2. 事例調査
3. ポストカード制作におけるガイドライン調査
4. デザイン決定
5. 材料収集
6. 制作
7. 試験(実際に送れるか)

【制作物】

- ・圧着ポストカード
- ・ミシン目入りポストカード

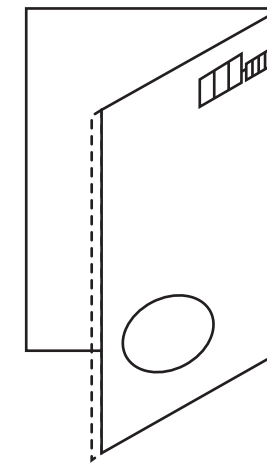
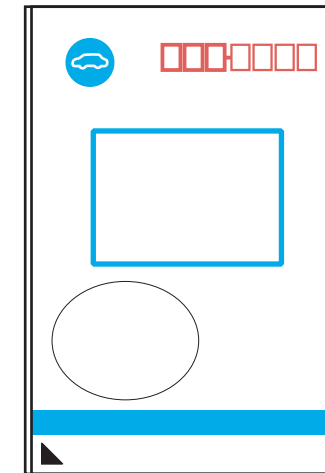
}それぞれ数種類ずつ

【考察】

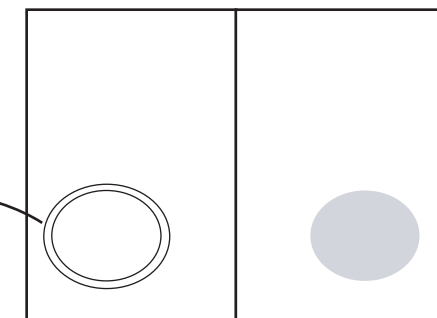
ポストカード制作のガイドラインなどの規制に囚われ過ぎると、「喜び」というものが十分に表現出来ず、かといってそれを全く無視するというわけにもいかないのので、頭の中でそのバランスを取るのがとても難しかった。

これからも郵便には長く関わっていくので、今回研究したことを参考にしながら利用していきたいと思う。

圧着はがき

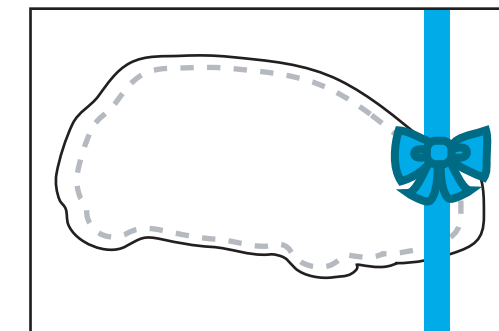
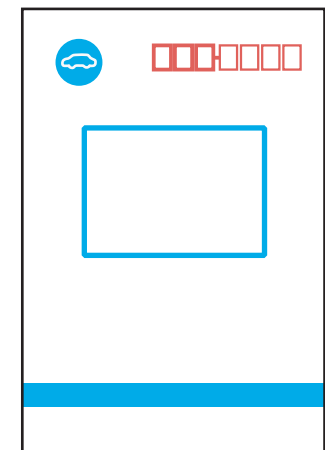


宛名面は、めくりやすいように2mm幅を狭くする



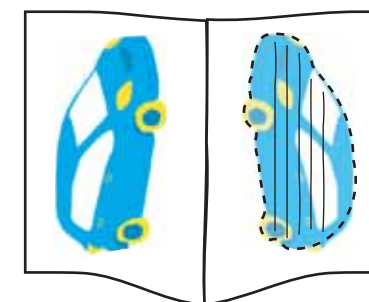
透明なカプセルの中に立体のミニチュアを入れる

ミシン目入りはがき

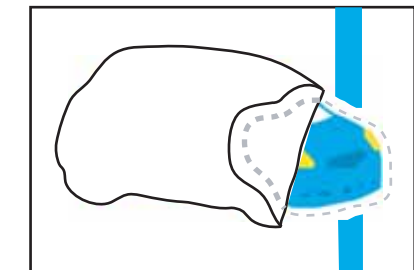


裏

表



右の絵がミシン目で切り取り
左の布のアップリケが見える



めくった紙に手紙が書いてある